

## 私の当院におけるNo.1

当院は都道府県がん診療連携拠点病院であり、多くのがん診療が行われています。進行がんに対し他科と心臓血管外科の合同手術が多いのも特徴です。がんやリンパ節の浸潤した血

管の合併切除、また血行再建手術も積極的に行っています。

また、初期研修5年間は呼吸器外科手術も自ら執刀する機会があり、胃がん等の開腹手術にも参加していましたので、心臓血管外科医の中では開胸手術した件数とがんの手術に携わった件数はNo.1と思います。

## 私の専門分野

心臓血管外科手術全般が専門領域です。弁膜症から大動脈、虚血性心疾患、末梢血管まですべて行っています。心臓血管外科医が本務なのですが、2017年からは医療安全管理室長として、当院での医療安全を担当しています。担当してすぐに「画像診断報告書の見落とし」事案が生じました。過去5年間の画像診断報告書、約25万件の確認作業を全スタッフの協力のもと行いました。改善策として電子カルテのシステム改善、診療情報管理士による画像診断報告書の管理ができるようになり、再発防止に努めています。

医療事故をゼロにすることはできませんが、たとえ事故が発生しても、一人一人の細かな気配りで事故を早期に発見し、適切な対応をとることで患者さんへの悪影響を最低限にとどめることが大切です。

当院は総合病院であり各科の連携もよく、合併症に対して、すべての診療科が協力し、全力で治療を行っています。私自身、患者さんの診療に携わっていますので、さらに安全な医療を行うように心がけています。To Err is Human「人は誰でも間違える」医療事故を防ぐために、医療事故の内容を分析し、原因究明、改善策を考え、職員すべてに周知し、実践することが私の責務と考えています。

## 医師ではない私の素顔

スキーと旅行を楽しみにしています。学生時代は車で白馬八方、志賀高原、野沢温泉によく出かけました。おかげで雪道の運転も苦にならなくなり、医師になってからもスキーは続けます。

学生時代には「地球の歩き方」とコンパスを片手にバックパックでヨーロッパから地中海沿いをユーレイルパスで貧乏旅行しました。その影響か、今でも家族で旅行するときにホテルは予約しますが、あまり計画をたてず、自由な旅行をしています。時代は移り、ヨーロッパの通貨は統一されユーロとなり、20年以上経て同じ街を訪れると、街の風景は変わっており、時代の変化

を感じます。昔とは違い、今はグーグルマップがあり、WiFiさえあれば、いろいろな情報を手に入れることができ、道に迷うこともなくなり、無駄なく旅行できるようになりました。

また、秘境(?)では商社勤務の友人が赴任していたパプア・ニューギニアにも行きました。飛行機の遅延で予定外の行程となり、夜間外出禁止令の出ている街に一人降り立った不安、JRの無人駅ならぬ無人空港(マダン)に到着した時の驚きは今でも忘れられません。

訪れた街が大きな変化を受けたことを目にする衝撃を受けることもあります。自由な旅をするといろいろなことに出会います。お酒の飲めない国では少しストレスを感じたり、また、騙されたり、苦労したこともありますが、今となっては良い思い出です。



イタリア トレビの泉にて



エジプト スフィンクスと



ニューヨーク ワールドトレードセンターと



モロッコ サハラ砂漠にて

## 読者の皆様へ一言

大学院生の時も当院に非常勤として手術日に勤務しており、平成の時代を守山で過ごしてまいりました。20~30年前に手術した患者さんを外来で診察できるのは外科医として感

慨無量です。医療現場はアナログからデジタルに移り、めまぐるしく進歩し、高齢者でも安全に手術が行われるようになりました。心臓血管外科医として、また医療安全管理室長として、今後も総合病院での医療が安全に行われるように努めてまいりたいと思います。

# 滋賀県立総合病院の医療安全教育

安全・安心な医療を提供するために医療安全管理室は、医療安全委員会、医療安全推進チームと共に職員への医療安全教育、患者さんへの広報を行っています。

医療安全教育として、医療安全講演会を年間2回開催し全職員が受講をしています。2018年からは、一山総長着任講演、長尾能雅名古屋大学医学部附属病院医療安全全部教授、松村由美京都大学医学部附属病院医療安全室教授、清水智治滋賀医科大学医学部附属病院医療安全全部教授のほか、医療安全のスペシャリストから医療安全の基礎を教えていただいています。

また、新規採用職員には「当院の医療安全」について、勝山医療安全管理室長がわかりやすく解説し、新規採用看護職員には、医療安全管理者が「看護業務に沿った医療安全」について楽しく講義演習を行っています。中途採用職員にもその都度講義を行っています。このように当院では、わかりやすい、楽しい雰囲気、時期に合った医療安全教育を継続し、職員の意識の向上に努めています。

医療安全管理室と医療安全推進チームは、インシデント事例を集計分析し、院内の医療安全対策に活かしています。今年度は、患者さんへの広報として医療安全啓発動画を作成し、当院YouTubeチャンネルで「令和4年度医療安全推進週間」を配信しました。職員が日ごろから気をつけている患者さんの安全を守る言葉をお届けしています。下記QRコードを読み取って、ぜひご覧ください。



医療安全講演会の様子(講師:一山総長)



医療安全管理室

## 滋賀県立総合病院広報委員会(事務局総務課)

〒524-8524 滋賀県守山市守山五丁目4番30号  
電話077-582-5031(代表)

滋賀県立総合病院ホームページ  
<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensou/>



※本誌へのご意見や感想等をぜひお寄せください。  
FACEしがネット受付サービス

<https://ttzk.graffer.jp/pref-shiga/smart-apply/surveys/8124789265493085857>



## 〈医療安全啓発の動画を配信中!〉

患者さんへ安全で質の高い医療を提供するために、私たちが日々心がけていること、大切にしていることを標語にし、動画を作成しました! 当院 Youtube チャンネルで配信中ですので、下記 QR コードを読み取って、ぜひご覧ください!



当院ホームページURL

<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensou/center/news/328676.html>

